

工学研究科博士後期課程システム工学専攻 授業科目関連表

科目群	1年		2年		3年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
電気情報システム講座	制御システム特論 制御システム演習(通年) メカトロ・ロボット応用特論 メカトロ・ロボット応用演習(通年) エネルギー変換工学演習(通年) 情報システム特論 情報システム演習(通年) 情報伝送工学演習(通年) 計算機システム演習(通年) ソフトウェア科学特論 ソフトウェア科学演習(通年) 並列処理演習(通年) 画像工学演習(通年) 無線信号処理演習(通年) 知の情報処理演習(通年) パターン認識・理解特論 パターン認識・理解演習(通年) 音響情報処理特論 システムLSI特論	制御システム演習(通年) メカトロ・ロボット応用演習(通年) エネルギー変換工学演習(通年) 情報システム演習(通年) 情報伝送工学特論 情報伝送工学演習(通年) 計算機システム特論 計算機システム演習(通年) 電子設計システム特論 ソフトウェア科学演習(通年) 並列処理演習(通年) 画像工学演習(通年) 情報通信特論 知的ユーザインタフェース特論 無線信号処理演習(通年) 知の情報処理特論 知の情報処理演習(通年) パターン認識・理解演習(通年)				
設計システム講座	医療福祉工学特論 計測制御演習(通年) 知能制御演習(通年) 知能機械学特論 環境エネルギー機械特論 環境エネルギー機械演習(通年) エネルギーシステム特論 エネルギーシステム演習(通年) 流動工学演習(通年) 分子熱流体工学演習(通年) 建築都市設計学特論 建築都市設計学演習(通年) 建築地域経営学演習(通年) 建築都市文化特論 建築都市文化演習(通年) 建築意匠・構法特論 建築都市意匠演習(通年) 建築環境設計工学特論 建築環境設計工学演習(通年) 構造システム設計学特論 構造システム設計学演習(通年) 構造挙動学演習(通年) 建築音響学演習(通年) 木質構造・構法学演習(通年)	計測制御演習(通年) 動的システム特論 知能制御演習(通年) 環境エネルギー機械演習(通年) エネルギーシステム演習(通年) 流動工学特論 流動工学演習(通年) 分子熱流体工学演習(通年) 建築都市設計学演習(通年) 建築地域経営学特論 建築地域経営学演習(通年) 建築都市文化演習(通年) 建築都市意匠演習(通年) 建築環境設計工学演習(通年) 建築設備システム工学特論 構造システム設計学演習(通年) 構造挙動学特論 構造挙動学演習(通年) 建築音響学演習(通年) 木質構造・構法学演習(通年)				
各講座共通	システム工学特別セミナー					
各専攻共通	工学展望特論Ⅰ(社会人向け)特別演習	工学展望特論Ⅱ(社会人向け)特別演習	特別実習	(特別実習)	課程修了設計	(課程修了設計)

※赤字はコア科目

工学研究科博士後期課程システム工学専攻

科目群	到達目標	ディプロマ・ポリシー(DP)との関連				
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
電気情報システム講座	学生は、電気情報システム分野に関する理論・システムを創造できる。	◎		○		○
	学生は、電気情報システム分野に関して国際的に情報発信ができる。	○	◎		○	
	学生は、社会に対して電気情報システム分野における新たな提案ができる。	○	○	◎		○
設計システム講座	学生は、設計システム分野に関する理論・システムを創造できる。	◎		○		○
	学生は、設計システム分野に関して国際的に情報発信ができる。	○	◎		○	
	学生は、社会に対して設計システム分野における新たな提案ができる。	○	○	◎		○
各講座共通	学生は、専門分野における新たな提案・貢献を社会に対して行うことができる。	○	○	○		◎
	学生は、専門分野における研究者として十分な知識を有している。	◎			○	○
各専攻共通	学生は、専門分野のみならず、システム工学における幅広い知識を有している。		○		◎	○
	学生は、専門分野におけるアイデアを現実のシステム・作品として形にすることができる。	○		◎	○	

DP1: 専門知識・技術

システム工学分野の研究者・技術者として専門分野に関する深く幅広い知識を習得し、それらの知識を高度に応用できる技術力を持つこと

DP2: 高度なコミュニケーション能力

専門分野に関する技術英語を含めたプレゼンテーションの知識と技術を習得し、他者と高度な議論を行う能力を習得すること。また専門分野の文献を深く理解でき、その内容や調査結果を文書や口頭で表現し、他者に的確に説明できること。

DP3: 問題解決能力

システム工学に関する専門知識を基にして、的確に関連情報収集を図り、幅広い視野から課題を発見し課題を解決するための高度な手法を提案し、その手法を実践する能力を修得すること。

DP4: 多面的論理的思考

多様な文化、習慣や考え方の存在を理解し、他者の意見を尊重して様々な場面で課題解決のための高度な判断ができること。また物事を論理的に考えることができ、問題解決のための合理的で的確な方法を考え出すことができること。

DP5: 幅広い関心と高い倫理観

科学技術の各分野に幅広く関心を持ち、多くの未知な分野があることを踏まえ、自主的・継続的な知識の獲得に務めることができること。また科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響を的確に理解して責任ある研究者・専門技術者として行動できること。